

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 25
2020・9・29

1 連邦閣議：連邦食料・農業省の2021年度予算は記録的な水準に
ー森林被害、コロナウイルス克服に重点をー (2020・9・23)

連邦食料・農業省は、2021年度に76億6610万ユーロ（約9193億6800万円）を予算計上している。追加プログラムとして、森林、畜舎の改築、新しい肥料規則の実施である。連邦閣議は、今日（9月23日）、2021年度連邦予算並びに2024年までの財政プランを決定した。

重点は特に景気一危機克服のための一連政策、並びにコロナウイルスの影響との闘いのために、さらなる政策の実行である。その際、連邦食料農業大臣クレックナーの尽力によって、食料一農業政策のための財源増加が続いている。

閣議決定と連邦議会の審議を経て、農業一林業そして食料業並びに農村地域発展のために、来るべき年に合計76億6610万ユーロが投入される。これは現行年度の2020年対比で、+9.2%、6億4300万ユーロ（約771億6000万円）の増加である。これは東西ドイツの再統一後、そして連邦農業省の歴史においても、最大の財政規模である。

基本的な点：

- ー 景気対策・森林と木材のために、2021年度に4億7000万ユーロ（約564億円）の財源を計画している。これには森林の持続的な管理の奨励、木材でもって気象に優しい建物と森林、木材の投資プログラムを含んでいる。
- ー 畜舎改造のために、母豚飼育における家畜の福祉改善の目的でもって、今回の財政に2億ユーロ（約240億円）見積もっている。
- ー 投資一将来プログラムのために、2021年度財政の中に最初の分野で、2億5000万ユーロ（約300億円）を見積もっている。2024年度までにこの財源額は、合計10億ユーロ（約1200億円）の額が予定されている。この政策の明らかな重点は、畜産の小規模施設における糞尿の浄化/分離への投資である。つまり、小規模施設における糞尿の環境汚染の少ない尿散布技術と、液体の発酵残さ並びに貯蔵における投資が対象である。

- 一 E U -共同課題”農業構造と海岸保全の改善”の領域において見積もられている財源は、新たに増加された。効率性が良く、そして将来的な社会的要請に対応し、かつ競争力のある農一林業、海岸保全並びに活力ある村々と農村地域のための国内奨励手段には、2021年10億1600万ユーロ（約1219億2000万円）の額を措置している。
- 一 健康上の消費者保護と栄養政策の双方での財源は、前年水準となっている。
- 一 持続性、研究そして革新の分野において、再生可能原料奨励プログラム、革新プログラム、畑作戦略、家畜飼育連邦プログラムそして有機農業と持続可能な農業の形態に効果的な政策が継続される。
- 一 初めて措置された財源は、今年設立されたボランティアとその活動のためのドイツ基金のための連邦農業省の補助金である。この基金は、自らの人的資源とノウハウでもって、構造的に弱い農村地域において、市民的なボランティアの参画のための仕組みを強化する。

個別プラン10（訳注・連邦食料・農業省の予算枠）における財政上の重点は、農業社会福祉の確保システムのさらなる奨励である。連邦はこのため、合計42億ユーロ（約5040億円）の補助金を充当する。個別プラン10から活用できる財源と並んで、連邦食料・農業省は来るべき年に、さらなる財源1億8000万ユーロの額を、個別プランの中に保持された。連邦政府は、エネルギー気象基金から既に提供している財源を、連邦農業省の気象保護のために、様々な政策に充当している。

連邦食料・農業省の2021年度財政（基本的な課題分野）

目的設定 (要約)	2021年 (暫定) 100万€	2020年 100万€	変化 2021/2020	
			100万€	%
農業社会保険（1001章）	4208.8	4111.0	97.8	2.4
内訳：農業高齢者保険	2476.0	2420.0	58.0	2.3
農業者事故保険	177.0	177.0	0.0	0.0
農地引渡し年金	11.0	14.0	-3.0	-21.4
農業者健康保険	1510.0	1465.0	45.0	3.1
補充的な高齢者保険	34.0	34.0	0.0	0.0
農業従事停止	0.8	1.0	-0.2	-20.0
健康上の消費者保護と栄養（1002/1010章）	212.6	212.7	-0.2	-0.1
内訳：連邦リスク評価研究所（BIR）	123.9	114.7	9.3	8.1
連邦消費者保護庁（BLV）（1017章）	58.5	65.0	-6.5	-10.0
消費者情報	9.7	9.9	-0.2	-2.0
バランスある栄養奨励政策	15.3	15.7	-0.4	-2.4
共通農業政策”農業構造と海岸保全の改善（1003章）”	1161.1	1135.1	26.5	2.3
内訳：海岸保全のための特別プラン	25.0	25.0	0.0	0.0
予防的な洪水防止対策特別プラン	100.0	100.0	0.0	0.0
農村地域発展奨励特別プラン	200.0	200.0	0.0	0.0
害虫予防特別プラン	85.0	50.0	35.0	70.0
市場規制・緊急事態対応政策	175.1	150.2	24.9	16.6
内訳：貸付金のための資金政策	2.5	3.0	-0.5	-16.7
連邦農業食料庁（BLG）	141.8	121.4	20.4	16.8
緊急事態対応	27.0	21.0	6.0	28.4
持続性・研究と革新（1005章）	426.3	463.8	-37.5	-8.1
内訳：モデルデモンストレーション計画	4.8	4.8	0.1	1.3
農村発展連邦プログラム	62.7	72.7	-9.9	-13.6
再生可能原料	79.6	84.8	-5.2	-6.1
革新奨励	54.4	53.0	1.4	2.6
世界食料のための国際共同研究	8.0	9.9	-1.9	-18.8
畑作戦略	24.5	23.0	1.5	6.5
有機農業/持続的な農業	28.4	28.9	-0.5	-1.6
蛋白作物戦略	4.8	5.8	-1.0	-17.1
家畜の福祉表示（ラベル）	20.0	20.0	0.0	0.0
家畜の福祉政策	0.0	28.0	-28.0	-100.0
連邦プログラム家畜飼育	38.0	36.7	1.4	3.8
農業のデジタル化	36.0	25.5	10.5	41.2

国際政策（1006 章）	69.2	76.7	-7.5	9.8
内訳：国際貿易関連の強化	3.0	4.0	-1.0	-25.0
相互的な技術共同活動	17.7	19.0	-1.3	-6.8
FAO の共同活動	12.8	15.7	-2.9	-18.7
国際組織への貢献	28.8	30.3	-1.5	-5.1
国際的な持続性森林管理	5.5	6.5	-1.0	-15.4
その他の認可（1010 章）	796.8	244.3	552.6	226.2
内訳：ボランティアの参加と発展のためのドイツ基金	10.0	0.0	10.0	
農業への将来—投資プログラム	207.0	0.0	207.0	
畜舎改築のための投資奨励	200.0	100.0	100.0	100.0
森林と木材の景気対策	470.0	230.0	240.0	104.3
包括的な支出削減	-112.9	-110.6	-2.3	-2.0
中心的な見積もり管理経費（1011 章）	126.2	126.4	-0.2	0.1
内訳：予防的な経費	79.6	77.5	2.0	2.6
会議、集会、見本市、展示会	15.0	20.2	-5.2	-25.6
連邦食料農業省（1012 章）	119.1	119.1	-0.1	-0.1
連邦食料農業省管轄業務 （補助金受給者除く）	365.8	378.9	-13.1	-3.5
内訳：ユリウスキューン研究所（1013 章）	88.0	100.2	-12.2	-12.2
フリードリッヒ研究所（1014 章）	116.5	108.2	8.3	7.7
マックスループナー研究所（1015 章）	53.5	58.8	-5.3	-9.0
ヨハン・インリッヒ・フォン・チューネン研究所（1016 章）	82.9	85.0	-1.9	-7.0
個別プラン 10	7661.4	7018.2	643.2	9.2
報道用				
エネルギー気象基金（個別プラン 10 の一部）	179.8	69.6		
— 森林気象基金	23.5	25.0		
— エネルギー効率・農業と園芸	38.0	44.6		
— 農場生産肥料（堆肥等）	58.6	0.0		
— 腐植の維持・強化	4.7	0.0		
— 湿地土壌の保護	55.1	0.0		

2 EUー農相理事会：共同でアフリカ豚コレラ（ASP）との闘いを

一気象の保護者としての森林は我々の最も良い味方（2020・9・25）

連邦食料・農業大臣クレックナーは自ら所管する業務の中で、必要なことを全てに取り組むことを表明した。今日（9月25日）ヴァイスキルヒエン（訳注・Weiskirchen ドイツ西部ザールラント州の都市）で、ドイツ議長職のもとに開催された、EUー農相理事会でクレックナー大臣が強調した。APS（訳注）の阻止は、国内で大変な仕事であることを述べた、EUー農相理事会は、APSに関する明確なシグナルを発した。それぞれの管轄業務の中で共同で取り組むときにのみ、ASPを克服できる。

”我々の農業者と養豚農家は、この特別な状況の中で非常に心配している。我々は農家を1人にしてはならない。この感染症との闘いに際して、互いに手を取り合って行動することが重要である。感染症の発症に際して、現地で明確な協調と情報伝達は、非一発症国の予防活動とともに重要である。今日EU各国が互いに連携することを確認したことは、重要なシグナルである。例えば、防護柵設置のために共同での出資が求められる。我々は連邦政府として、共同融資の可能性を、EUー委員会とともに明確にしたい。”

”しかし、防護柵を単独で設置することは、万能薬ではないが、ASPに対する礎石である。各国がさらに効果的な対策をとることが重要である。例えば、イノシシの死体を早期に見つけること、そして感染している地域において、正確な囲い込みを強化するように。このことと更なる対策を徹底して実行されねばならない！”と、クレックナーは述べた。

気象の保護者として森林を強化

クレックナー大臣はザールラントにおける会議に際して、森林の生態系システムの貢献と評価について協議した。特に気象保護における森の役割について。

連邦省は既に年の初めに1つのモデルを策定するために、連邦、各州、森林団体、科学者から成る専門家作業グループを設置している。

これについて大臣は、ドイツにおける森林と持続的な森林管理が、気象保護に際して我々の最も良い味方であると、強調した。森は大気中から毎年約1億2700万tのCO₂を減らしている。我々は森林のこの貢献に報いなければならない。しかし、森林は最早管理されないという事態を生ずることなく、発展させねばならない。

訳注・ドイツでは、2020年9月28日現在36頭の猪にASPの発症を確認。

キクイムシのさらなる拡大を許すことで、森林の機能停止となってはならない。加えて生態系システムは、森のCO₂の吸収と酸素の放出という、全体収支を生み出す。さらにクレックナー大臣は、エネルギー気象基金からの財源配分に際して、森との重要な関わりを明確にした。”我々は森林が多大なCO₂吸収に対して、継続的に投資しなければならない。我々はこの気象保護への貢献に報い、そして森林を保持する。”

共同農業政策/メルコスール (Mercosur) 合意

各国はこの会議でヨーロッパ農業政策の改革に際して、ドイツの議長職のもとで野心的な取組みへの支持を明確にした。10月のEU一農相理事会に際して、全般的な調整を目指すための取組みに合意した。つまり、ドイツ議長職の新しい農業政策の提案は、気象一環境保護を農業政策の中に適切に組み入れ、同時に農業者に対して環境保護への貢献が適切に報いられること。そしてこれでもって、ヨーロッパ農業の競争力を保つことを確認した。

今回の会議のもう1つの重要課題は、メルスコール一合意である。クレックナー大臣は、ここで自らの姿勢を強めている。彼女はこの合意の批准にとりかかることに際して、ヨーロッパで重要としている環境目的を、ブラジルのような国が遵守するか、ということに懐疑的である。この問題についてより多くの疑問点が生ずる場合は、この合意が最終決定とはならないと、クレックナーは強調した。各国は熱帯雨林で続いている伐採について、ドイツ議長の疑念を共有した。

3連邦農業省：農村地域のデジタル化促進のためにモデル地域公表

一スマート農村地域でモデル地域に100万ユーロ (2020・9・28)

連邦農業大臣クレックナーは、連邦農業省の「スマート農村地域」のデジタル化一プログラムの領域において、選定した農村地域(郡)を支援する。クレックナーは、「スマート農村地域」のベルンカステル一ヴィトリッヒ郡を含めた7郡の入選を公表した。連邦省は来る4か年間に、デジタル化の実践に際して1モデル地域(郡)に、100万ユーロ(約1億2000万円)でもって支援する。

クレックナー：”近くでの医者、自分が必要としたときにバスに乗れる、大きな都市では殆ど当たり前のこれらのこと、農村地域に住む人々にとっては大きな挑戦となっている。デジタル化は、例えばビデオ一診察または柔軟な呼び出しバスを、支援することが可能である。

農村での生活のための備えが強化される。適切な問題解決を援助し、そして国民の日常生活の負担軽減を可能とする。このデジタル化構想は、加えて他の農村地域のためにも、インスピレーションと模範事例を提供する。成果多いこの応募に参加した全ての人々に、心からお礼申し上げる。” 7つのモデル地域は、ソフトウェア工業技術実験のためのフラウエンホーフ研究所 (Frauenhofer-Institut) とともに、このデジタル構想を実施している。

この活動は郡レベルのデジタル化戦略と、専門知識の構築、意識高揚と地域の人々の参加といったような、政策を通じて支援する。

追加してモデル地域における地域の関係者が、個々のプロジェクトの実施において奨励される。

背景：

連邦政府は農村地域におけるデジタル化を、さらに促進させるために、12月にモデル計画”スマート農村地域”をスタートさせた。郡レベルでデジタル問題解決、発展のために、オンライン診察、Eラーニング構想そして柔軟な交通システムの提供でもって、活気づけられる。

全体で 68 の郡から応募があり、その中で第一次審査で 22 の郡が、奨励資格を与えられた。審査委員会から選定されなかった 15 の郡は、同じくモデル計画が認可されている。連邦政府はこの 15 の郡に対して、それぞれに 20 万ユーロ (約 2400 万円) でもって、デジタル化プロジェクトを支援する。

さらに省は、目的とする知識の伝達者、近代的な参加スタイル並びにモデル計画に対して、開発されたデジタル技術の応用方法に、関与することを計画している。そして連邦農業・食料省の傘下組織である農業食料庁が、農村発展構想センターのモデル計画を側面から支援する。

モデル地域：ベルンカステル-ヴィトリッヒ郡の概要

代表：ランダート グレゴール エイベス

我々は、「スマート農業地域」でモデル計画に参加する。デジタル化は、我々の故郷 エイフェル、モーゼル、ハンスリュック地域に大きなチャンスを与えてくれる。我々は協同で他に学び、そして交流したい。我々は既に今あるデジタル化プロジェクトをさらに発展させ、新しい社会傾向をつかみ、あらゆる生活領域のために実践したい。目的は、我々と次の世代のための広範な戦略である。我々はより強い共同社会として、あらゆる人々と進んで行く。

我々の地域の特徴：

- ① 位置 ラインラントーpfアルツ州 で 2 番目に大きな面積を有する郡
- ② 人口 112 262 人 ③ 人口密度 96
- ④ 市町村数 107
- ⑤ 目的：全ての人々と次世代のための広範なデジタル化戦略の実行一共同
でデジタル化

2020・9・28 訳

青森中央学院大学

中川 一徹